

2025年度内外交流委員会事業

# クロアチア・ハンガリー自動車関連視察研修 報告書

## 2025年



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

## 1. 視察団団長ごあいさつ

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会  
内外交流委員会 副委員長  
視察団 団長 田嶋 直

2025年度は9月7日（日）～13日（土）の4泊7日でスロベニア、クロアチア、ハンガリーを視察して参りました。15名の皆様にご参加を頂き、自動車関連の企業を視察させて頂きました。概ね天候にも恵まれ昼は30℃前後、夜は20℃を下回りとても過ごしやすく特に事件事故もなく実りある研修を終えて帰国出来ました事を先ずは報告させて頂きます。

今回、クロアチアではリマックとブガッティ、ハンガリーではDENSO Manufacturing Hungary LTDとMagyar SUZUKI Zrt.を視察致しました。

リマックとブガッティではハンドメイドのハイパーカーの工場見学と助手席に乗っての試乗、とんでもない加速やドリフトを体験しました。

DENSOでは生産現場を視察し品質管理の素晴らしさを実感しました。

SUZUKIではプレスから車両の組み立てを視察しハンガリーで国民車と言われるまでに地域に根づいていることに感銘を受けました。

東欧のあまり馴染みのない国への訪問でその国の歴史や人々の暮らしを知り、新しい発見もあり、今回参加していただいた皆様との懇親も深まり素晴らしい視察研修となりました。

アテンドして頂いた株式会社F&Cホールディングスの藤巻社長、佐久間特殊鋼株式会社の佐久間社長、伊藤忠丸紅特殊鋼株式会社の森川社長、(株)JTBの深田様、添乗員の川崎様、事務局の伊藤部長、訪問先の皆様、関係者の皆様に感謝致します。

次年度の視察研修でも為替、物価高、国際情勢により、上振れするコストを出来るだけ抑えながら皆様の要望等も踏まえ魅力ある海外視察を企画したいと思いますので皆様の協力にご参加を宜しくお願い致します。



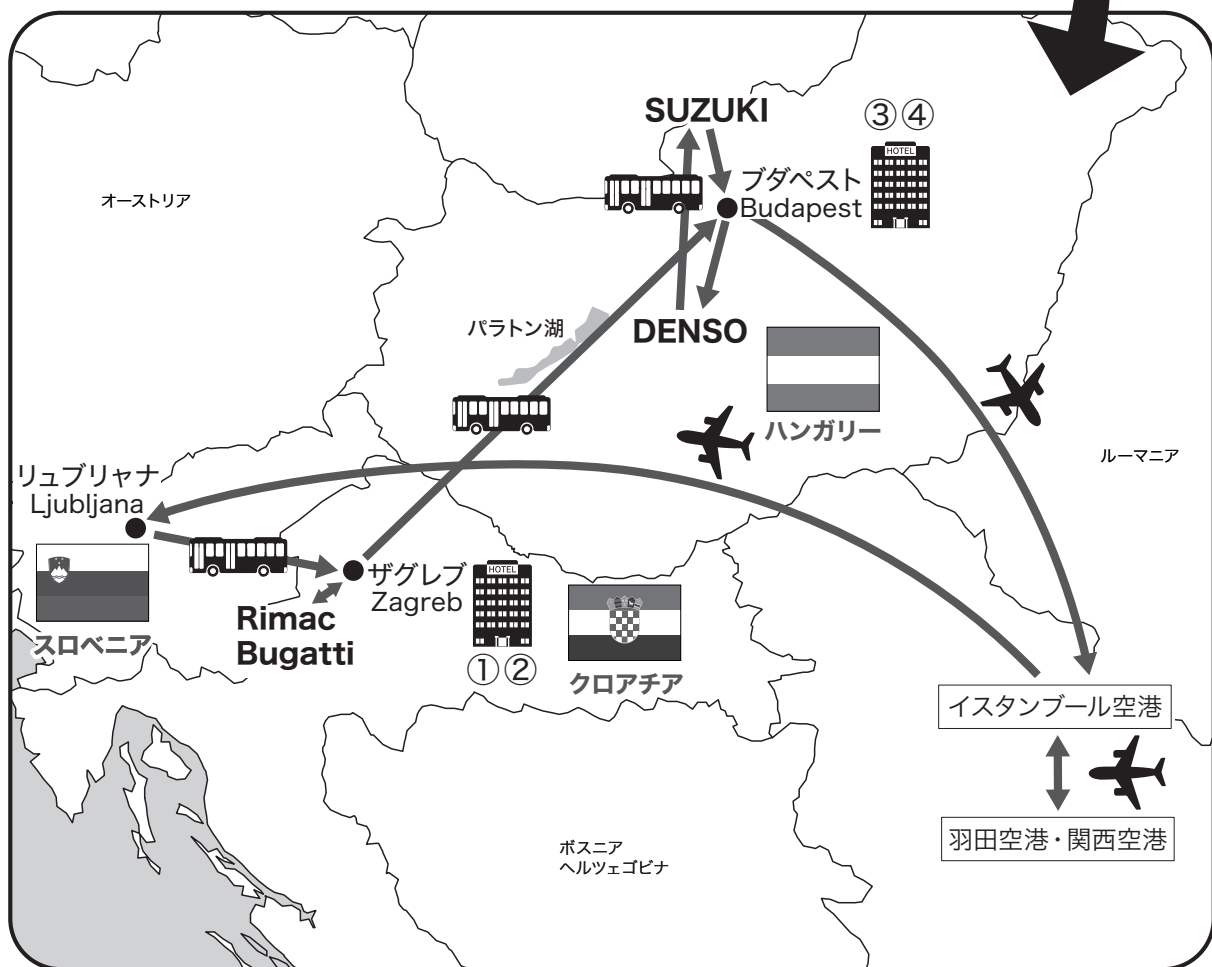
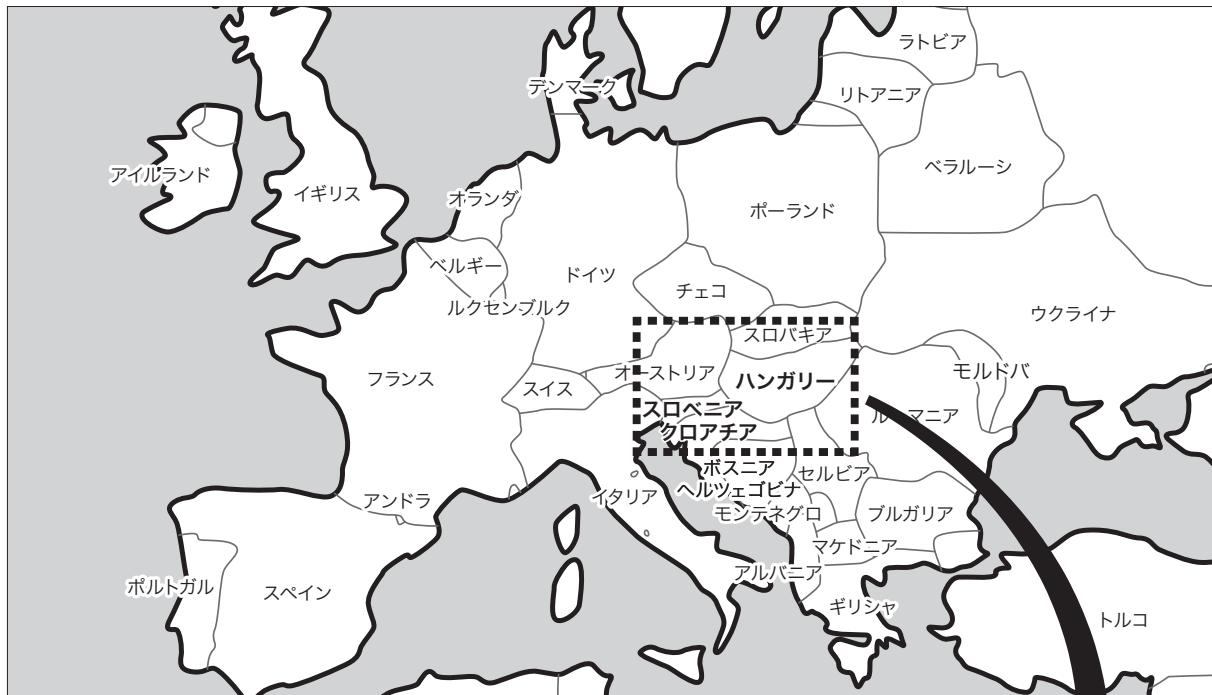
Rimacのテストコースで試乗したNEVERA (9/9)

## 2. 日程表

2025年9月7日(日)～2025年9月13日(土)

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール
1	9/7 (日)	関西国際空港 羽田空港	22:25 21:45	TK087 TK199	【関西組・5名様】空路、イスタンブールへ 【東京組・10名様】空路、イスタンブールへ  (泊) 機中泊
2	9/8 (月)	イスタンブール国際空港  リュブリャナ空港  リュブリャナ  ザグレブ	04:55 04:50 07:15 08:30 10:00 10:30  13:00 15:30  17:00 18:00	TK1061  専用車	【関西組・5名様】到着後、乗継 【東京組・10名様】到着後、乗継 空路、リュブリャナ(スロベニア)へ(16名様) 到着 空港出発 リュブリャナ観光(フランシスコ教会、三本橋、 大聖堂など) 昼食 リュブリャナ出発 ザグレブ市内観光(イエラチッチ総督広場、ザグ レブ大聖堂など) ホテル到着 夕食(結団式) (泊) Sheraton Zagreb
3	9/9 (火)	ザグレブ	09:00   18:00 20:00	専用車	ホテル出発 AM: 視察① Rimac Automobili  昼食  PM: 視察② Bugatti  夕食 ホテル到着 (泊) Sheraton Zagreb
4	9/10 (水)	ザグレブ バラトン湖周辺  ブダペスト	08:00 11:00  17:00 18:00	専用車	ホテル出発 観光: ハーヴィーズ温泉湖、フェシュテティッチ 宮殿 ホテル到着 夕食 (泊) Crown Plazal Budapest
5	9/11 (木)	ブダペスト	07:30 08:30-10:30  13:30-15:30 17:00 18:00 20:00	専用車	ホテル出発 AM: 視察① DENSO Manufacturing Hungary LTD (Szekesfehervar)  昼食  PM: 視察② Magyar SUZUKI (Esztergom)  ホテル到着 関西組1名離団 夕食(解団式) ホテル到着 (泊) Crown Plazal Budapest
6	9/12 (金)	ブダペスト  ブダペスト国際空港 イスタンブール国際空港	09:00  18:00 20:30 23:40	専用車  TK1038	ホテル出発 ブダペスト観光(ブダ城、鎖橋、漁夫の砦、国会議 事堂ほか)  空港到着 空路、イスタンブールへ 到着後、乗継(2時間20分)
7	9/13 (土)	イスタンブール国際空港  関西国際空港 羽田空港	02:10 02:00 19:00 19:20	TK086 TK198	【関西組・4名様】空路、関西国際空港へ 【東京組・10名様】空路、羽田空港へ 【関西組・4名様】到着後、解散 【東京組・10名様】到着後、解散

### 3. 訪問先地図



## 4. 参加者名簿（正会員14名/事務局1名）

（敬称略・順不同）

氏名	会社名	役職名
団長 田嶋 直	(株) 鐵鋼社	代表取締役
	(一社) 全特協	内外交流委員会副委員長

### A班 5名（東京支部5名）羽田空港発着

班長 森川 和俊	伊藤忠丸紅特殊鋼 (株)	代表取締役社長
秀高 雅紀	(株) UEX	代表取締役社長
鳥田 明佳	(株) UEX	執行役員大阪支店長
堀切 崇史	秋山精鋼 (株)	室長
田嶋 直 (前出)	(株) 鐵鋼社	代表取締役

### B班5名（名古屋支部4名/事務局1名）羽田空港発着

班長 鷺野 敦司	名古屋特殊鋼 (株)	代表取締役社長
中島 伸夫	中島特殊鋼 (株)	代表取締役
川本 賢史	川本鋼材 (株)	次長
佐久間 崇透	佐久間特殊鋼 (株)	代表取締役社長
事務局 伊藤 龍也	(一社) 全日本特殊鋼流通協会	業務部長

### C班5名（名古屋支部4名/大阪支部1名）関西空港発着

班長 藤卷 秀平	(株) F&Cホールディングス	代表取締役社長
篠原 巧	(株) F&Cホールディングス	執行役員社長室長
樫 芳之	辰巳屋興業 (株)	専務取締役
山下 良隆	リントツ (株)	代表取締役社長
濱井 省吾	三利特殊鋼 (株)	代表取締役社長

### 【現地でお世話になった添乗員・現地ガイド・通訳】

川崎 由喜代	JTB添乗員	全日9/7～9/13
ペトロ	スロベニア・クロアチアガイド兼通訳	9/8～9/10
リリア	スロベニアガイド	9/8
アンジェリカ	ハンガリーガイド	9/10、9/12
白石	DENSO・SUZUKIガイド	9/11

## 5. 訪問国のプロフィール

### (1) スロベニアのプロフィール

①スロベニアの概要 スロベニア共和国、通称スロベニアは、中央ヨーロッパに位置する国。首都はリュブリャナ。主要なヨーロッパの文化や交易の交差点。西はイタリア、北はオーストリア、南や南東はクロアチア、北東でハンガリーとそれぞれ国境を接している。国土面積は20,273平方kmで、205万人の人口を擁する。議会制共和国で、欧州連合（EU）や北大西洋条約機構（NATO）の加盟国でありユーロ圏でもある。

スロベニアはアルプス山脈とディナル・アルプス山脈、地中海のアドリア海沿岸部というヨーロッパの4つの大きな地理に接する。過去現在のスロベニアの領域は様々な国により支配されていたが、第二次世界大戦後樹立したユーゴスラビアから1991年に独立。

②首都リュブリャナの概要 リュブリャナはスロベニアの首都で国際関係の中心地である。スロベニア中央部のリュブリャナ低地に位置し、人口は280,278人で首都として特別市としての地位が与えられている。地理的に交差点であることから、スラヴ世界と共にゲルマンやラテン文化など様々な要素が歴史を通じて影響を与えている。



フランシスコ教会 (9/8)

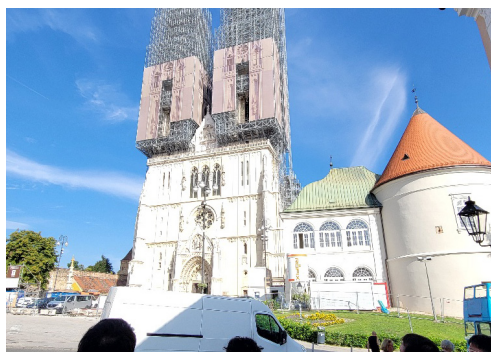


プレシェーレン広場 (9/8)

### (2) クロアチアのプロフィール

①クロアチアの概要 クロアチア共和国、通称クロアチアは、南ヨーロッパのバルカン半島に位置する共和制国家である。首都はザグレブ。本土では西にスロベニア、北にハンガリー、東にボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビアと国境を接している。南はアドリア海に面し、対岸はイタリア、飛び地のドゥブロヴニクでは東にモンテネグロと接している。ユーゴスラビアを構成していたが、スロベニア同様1991年に独立した。人口は410万人(128位)、公用語はクロアチア語。通貨はユーロ（EUR）圏。国土面積は56.5千km<sup>2</sup>（124位）。

②首都ザグレブの概要 ザグレブはクロアチアの首都。同国最大の都市である。国の北西部、サヴァ川に沿うメドヴェドニツァ山の南斜面に位置し海拔は122mである。2011年の国勢調査による人口はザグレブ市街が686,568人。また中央ヨーロッパとアドリア海を結ぶ良く整備された交通回廊によって周辺地域と結ばれており、交通の要衝である他、産業の集積や科学研究機関、伝統的な産業などでクロアチアで先導する地位にある。また、首都としてクロアチアの中央政府や行政機関、省庁のほとんどがザグレブに拠点を置いている。ザグレブ新市街は、南のザグレブ中央駅からイェラチッチ広場（共和国広場）まで基盤の目状に広がり、坂を上がるとザグレブ大聖堂、サン・マルコ教会がある。そこから北に向かって旧市街が広がる。ここにはゴシック様式とバロック様式の建物が多く、中世の町並みがよく残っている。



2020年の大地震で修理中のザグレブ大聖堂 (9/8)



サン・マルコ教会 (9/8)

### (3) ハンガリーのプロフィール

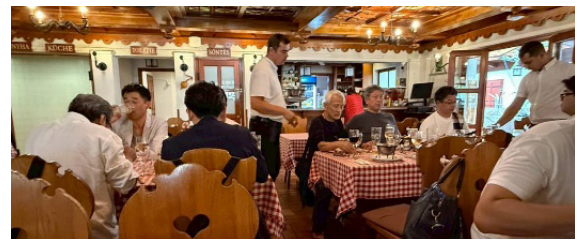
①ハンガリーの概要 ハンガリーは、ハンガリー語の通称Magyar（マジャル）。中央ヨーロッパの共和制国家。西にオーストリア、スロベニア、北にスロバキア、東にウクライナ、ルーマニア、南にセルビア、南西にクロアチアに囲まれた内陸国である。国土の大部分はなだらかな丘陵で、ドナウ川などに潤される東部・南部の平野部には肥沃な農地が広がる。首都のブダペストにはロンドン、イスタンブールに次いで世界で3番目に地下鉄が開通した。人口は966万人（世界93位）、公用語はハンガリー語（マジャル語）国土面積は93千km<sup>2</sup>（世界107位）



フェシュテティッチ宮殿（9/10）



ヘーヴィーズ温泉湖に入浴（9/10）



ヘーヴィーズでの昼食（9/10）

②首都ブダペストの概要 ハンガリーの政治、文化、商業、産業、交通の一大中心都市で、東・中央ヨーロッパでは最大、欧州連合の市域人口では8番目に大きな都市である。（人口169万人）  
ブダペストはヨーロッパでも最も美しい街の一つで、ドナウ川河岸を含め世界遺産が広がりブダ城やアンドラーシ通り、英雄広場は良く知られている。ブダペストの名称はドナウ川を挟んだブダとペシュト2つの町の名称を組み合わせたもので、1873年に町が合併され一つになって以来使われている。



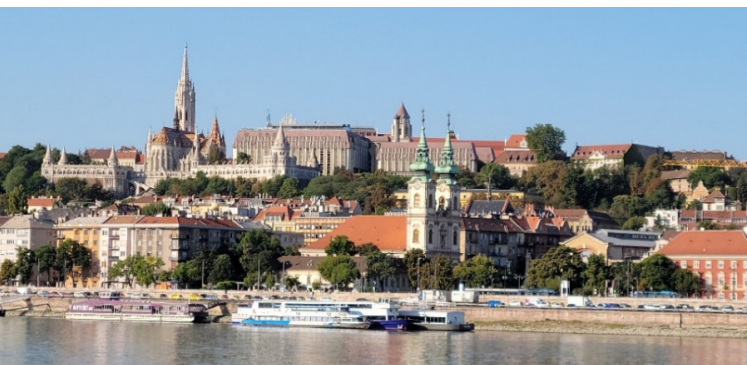
鎖橋とブダ城の夜景（9/11）



聖イシュトヴァーン大聖堂（9/11）



マーチャーシュ聖堂と騎馬像（9/12）



ドナウ川とマーチャーシュ聖堂（9/12）



ハンガリー国会議事堂（9/12）

## 6. 視察訪問先

### (1) Rimac Automobili & Bugatti Automobiles の工場見学

- ① 訪問日：9月9日（火）10:30～15:30
- ② 通訳：BINGO SPORTS アンナ氏
- ③ 従業員：約2,500名
- ④ 生産台数、価格：3～4億円/台以上 年30台程度
- ⑤ 概要：リマック・アウトモビリは、クロアチアのスペタネデリヤを拠点に、バッテリー式電気自動車を開発・製造・販売している自動車会社である。創業者が乗り回しているうちにエンジンを壊してしまった古いBMW E30をインターネットで買い集めた部品で電気自動車に改造したことから始まった。リマック・ネヴェーラは、2021年にコンセプト・ツーをベースに発表された市販モデル。世界最速（0-100km/hは1.85秒）の量産EVとして知られ、3億円を超える価格で150台限定生産されている。またEV用バッテリーパックとしてもBMWなど欧州メーカーに供給している。



RIMAC NEVERAの説明（9/9）



RIMAC Concept One（9/9）



通訳のアンナ氏（9/9）



RIMAC工場外観（9/9）



見学・試乗後昼食（9/9）

### ⑥ NEVERAが専用トラック（テストコース）を走行

参加者全員が、一人ずつ助手席に試乗し、約1～2キロメートルを急加速やドリフト走行を楽しんだ。



試乗のNEVERAと一緒に（9/9）

## (2) DENSO Manufacturing Hungaryの工場見学

- ① 訪問日：9月11日（木） 8:30～10:30
- ② 住所：Holland fasor 14, Szekesfehervar 8000, Hungary
- ③ 生産品目：コモンレールシステム、VCT・OCV、EGRバルブ等の製造
- ④ 設立：1997年7月15日
- ⑤ 資本金：191M€（約330億円）
- ⑥ 売上：779M€（約1,360億円）/年
- ⑦ 従業員：約4,000名（平均44歳、男女比6：4、内日本人22名）
- ⑧ 面会者：松木社長、山本副社長、馬場氏、宮川氏、他



工場見学風景（9/11）



工場見学後、ホールにて松木社長（前列左から4番目）らと記念撮影（9/11）

## (3) Magyar SUZUKI Zrt.の工場見学

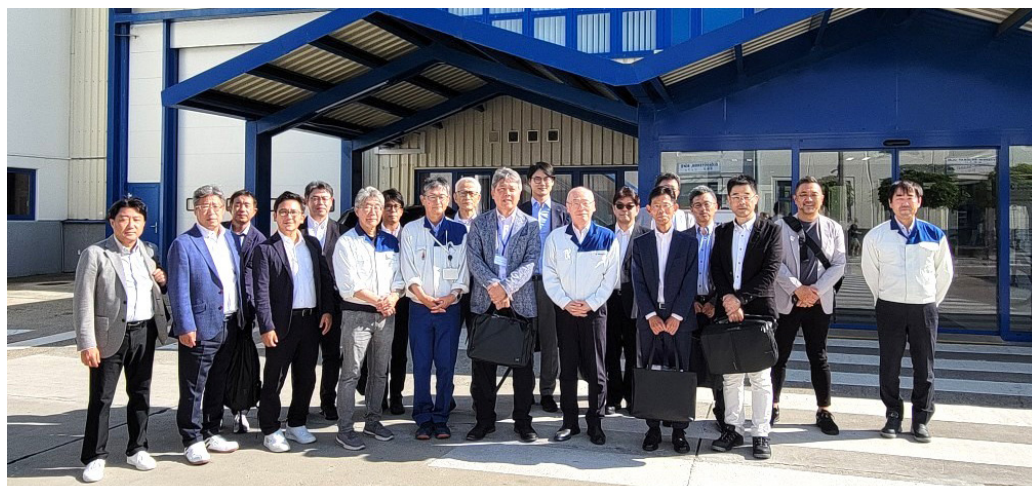
- ① 訪問日：9月11日（木） 13:30～15:30
- ② 住所：Schweidel Jozsef utca 52, 2500 Esztergom, Hungary
- ③ 従業員数：3,286人
- ④ 生産台数：S-CROSS 47,000台/年、VITARA 64,000台/年
- ⑤ 敷地面積：約570,000ha（東京ドーム12個分）
- ⑥ 1992年10月 - スズキ車（SWIFT）の生産を開始
- ⑦ 2024年2月生産累計400万台達成
- ⑧ 面会者：渥美社長、横川常務、佐々木工場長、笹木購買部長



S-CROSS



VITARA



工場見学後、玄関前で渥美社長（前列右から3番目）らと記念撮影（9/11）

## 7. 参加者の感想文

### 伊藤忠丸紅特殊鋼株式会社 森川 和俊

昨年のスウェーデン視察に続き2回目の研修参加となった。今回の視察先の中で、伊藤忠商事が出資していることから当社より伊藤忠経由で見学を依頼したマジャールスズキに絞って、概要を報告させて頂きたい。

マジャールスズキは、スズキの欧州域内唯一の生産拠点として、日本、インドとともに重要な拠点と位置付けられている。伊藤忠は、スズキ関連の物流全般（国内販売、KD輸入、自動車輸出）の役割を担っている。1992年より生産を開始し、2024年には累計で400万台の生産を達成。ピークは2008年に28万台を生産していたが、現在はビターラ、エスクロスの2車種で年間約11万台を生産している。サプライヤーは全部で215社、EUが65%、ハンガリー国内が30%を占める。ハンガリー国内の新車市場で13-14%とトップのシェアを持つとともに、輸出の拠点としてEUや中南米など世界123ヶ国に輸出している。

工場見学では、通常なかなか見られないプレス工場も見ることができた。立ち上げ時から稼働しているプレス機含めプレス5ラインを有し、サイドボディ、ルーフ、ドア等大物部品から、アンダーフロア等の細かい部品まで110部品を製造。保有金型は1,050型、内300型が量産用で、残りは補給部品用とのこと。溶接ロボットは全部で490台。日本やインドと比べ自動化の余地は残されており、今後の生産計画とともに自動化の投資をどう進めるかがひとつの課題であるとのことであった。工場内に訓練道場があり、ラインに入るためには一定期間の訓練を受けることが必須とされている。ハンガリーは周辺国と比べ給与水準が低いため人材の国外流出が多く、人員の確保には苦労しているとのこと。インド等他拠点との人事交流も行っており、人材の育成、確保を図っている。

訪問前から、スズキの欧州進出が、なぜ社会主義国家から自由化して間もないハンガリーであったのか、という点が疑問であった。経済の発展していない旧社会主義国が有望な市場に見えたこと、高い教育水準、好条件の融資など、いくつか理由があったと思われるが、社会主義の時代から設立まで6年の交渉期間を費やしており、インド同様、長い年月をかけて政府との信頼関係を構築し現地に浸透してきた故鈴木修前会長の思想がいまだに色濃く根付いていることが、スズキの駐在員の方の言葉からも強く感じられた。

他の視察先であるリマック、デンソーハンガリーにおいても、丁寧な説明と驚くほどのもてなしをして頂き、大変有意義な研修となった。手配して頂いたF&Cホールディングスの藤巻社長、佐久間特殊鋼の佐久間社長には改めて感謝申し上げたい。昨年同様、研修期間を通して参加者の皆さんと多くの時間を共有し交流を深めることができた。今後この関係をお互いの会社経営、また特殊鋼業界全体の発展のために活かしていければと考えている。

## 株式会社 UEX 秀高 雅紀

9月7日から9月13日にかけてのクロアチア・ハンガリー視察研修の感想を以下に記します。

9月9日は、ザグレブ近郊にあるRIMAC&BUGATTIの工場を訪問した。本工場は一般的な自動車の量産工場とは趣が大きく異なり、生産する車は、所謂ハイパーカーといわれるカテゴリー、即ちスーパーカーを凌駕する究極の性能を持つ特別な車であり、主な車種は「ネヴェラ (Nevera)」である。ネヴェラの生産台数は年間50台を目標としており、150台の限定生産分を完成させるには約3年かかる計画となっているとのこと。

午後には、同社のテストコースにてテストドライバーが運転するネヴェラの助手席に乗車し、0-100kが1.9秒という異次元の加速やドリフト走行という、通常では体験することのできない貴重な非日常を経験してもらった。

9月11日には、ハンガリーのDENSO MANUFACTURING HUNGARY LTD. およびMAGYAR SUZUKIの工場見学をした。

DENSO MANUFACTURING HUNGARY LTD.は、ハンガリー中部のセーケシュフェーヘルバール市に位置する。デンソーグループにとって、ハンガリーで最初の、ヨーロッパでは5番目の製造拠点として1997年7月に設立された。主な製造品目はICE (ディーゼル) のコモンレールシステムおよびBEV、HEV、PHEV用インバーターである。

残念ながら自分自身、自動車をはじめとしたエンジン関連の知見が乏しく、コモンレールシステム等の説明内容の理解が浅かったことが残念であったが、売上高の1/4強はトヨタ向け、1/4弱がGM向け、その他VW向けとのことであった。乗用車向けディーゼルは今後縮小傾向が予想される一方、インバーターはフォード向けがBEV、トヨタ向けはHEVが中心であり、中期的には拡大が予想される。

トヨタグループの企業の工場らしく、工場内は整然としており品質維持への拘りも感じられた。

MAGYAR SUZUKIは、ハンガリー北西部エステルゴム市に位置しており、1991年に設立された。四輪車の生産をしており、主な車種はビターラおよびS-CROSSである。こちらの工場は、所謂一般的な量産車の生産工場であり、年間の生産台数はビターラ64千台、S-CROSS47千台とのことであった。

印象として、溶接等ロボットが多様されオートマチックに組み立てが行われていると感じられたが、担当者の方の説明によると自動化は他工場に比べて遅れているとのことであった。また、同じ組み立てラインに違うボディ形状の車種が流れて生産されていたことが新鮮な驚きであった。

RIMAC&BUGATTIは、(株) F&Cホールディングスの藤巻社長、DENSO MANUFACTURING HUNGARY LTD. は、佐久間特殊鋼(株)の佐久間社長、MAGYAR SUZUKIについては、伊藤忠丸紅特殊鋼(株)の森川社長のそれぞれご紹介により工場見学が実現されたものであり、貴重な体験を提供頂いたことに改めて御

礼を申し上げたい。

また、わたくし自身個人的には本年の3月に(株)UEXの社長に就任したこともあり、特殊鋼業界の皆さまとの接点が乏しく、今回このような形で参加各社の社長やその他の皆さまと行動を共にできたことについても大変ありがたく、事務局の方をはじめ皆さまにこの場をお借りして厚く御礼申し上げる次第であります。

以上

## 株式会社 UEX 島田 明佳

### 1. クロアチア・ハンガリー自動車関連視察研修の感想

#### ①訪問先別に印象に残ったこと、勉強になったことなど

##### ●Rimac Automobili の訪問

・リマックはクロアチアに本社拠点を有し、2009年に設立されたバッテリー式電気自動車を開発・製造・販売している会社である。現在ではブガッティとの合弁会社、Bugatti Rimac社となっている。主力車種はリマック・ネヴェーラで4輪に磁石モーターが取り付けられており、それぞれ独立して駆動することができる。前後重量配分は48対52。合計出力1,914PS、最大トルク2,360Nm、最高速度256mph(約412km/h)、0-100km/h(62.5mph)加速1.97秒。

今回、F&Cホールディングスの藤巻社長のお力添えにより助手席に試乗させてもらったがあのG(重力)の感覚は忘れがたいものとなった。

##### ●DENSO Manufacturing Hungary LTD の訪問

・1997.7設立、資本金=19,130万€、従業員数≒4,000名(内日本人スタッフ≒20名)

・コモンレールシステム及び電子制御式噴射ポンプを製造

コモンレールとは燃料噴射方式の一つで、蓄圧室に燃料を送り込みインジェクターから燃料室に噴射するシステム。

部品の製造工程は鍛造・熱処理・切削・電解・浸炭(黒染)・研削・マッチング・検査と大型車両(トラック・農建機等)が対象となっている。また、納入比率はトヨタ(28%)・GM(24%)である。

##### ●Magyar SUZUKI Corporation Ltd の訪問

・1991.4設立、資本金=212,828千€、従業員数≒5,700名(2007年)。ハンガリー(旧社会主義国)初の自動車メーカーで、Magyar=ハンガリーの…意味で政府及び国民もスズキに対する思いは強いものと感じた。

・スイフト・エスクードを中心に製造しており、2024年には400万台を達成し、足元の生産は10万~11万台/Yの生産となっており、現在ではハイブリット車の生産にシフトしている。

### 2. 今回の視察研修全体の感想

・今回はリマック/ネヴェーラ(HVスーパーカー)に試乗出来たことが印象深かった。1台≒4億円するような車に乗車することはないだろうし、あの加速感を味わえた

ことは感動した。

- ・今回の視察研修で充実したことは、会社視察・観光・食事等色々ありましたが一番は各支部の参加者の方と交流が持てたことです。

今後はこれを機に交流が深められるよう活動したいと考えてます。

改めて田嶋団長をはじめ参加された方々にお礼申し上げたいと思います。

以上

## 秋山精鋼株式会社 堀切 崇史

今回、全日本特殊鋼流通協会主催の視察研修に初めて参加させて頂きました。別の視察に参加した当社社員から視察や交流が刺激になった旨の話を聞いており、又、個人的にもヨーロッパ訪問が初めてでしたので、移動時間が長い事は覚悟の上で参加を致しました。

日本からトランジットのイスタンブール空港迄夜間移動でしたが、運よく座席は一番前の通路側だった為、14時間のフライトでもエコノミーとしては快適に過ごす事が出来ました。

イスタンブール空港にて関西空港発組と合流し、各参加メンバーと名刺交換、リュブリャナ空港へ移動後、市内観光を実施。

歴史ともにバロック様式の建築物を見て回りましたが、市内のゴミ箱は専用カードが無いと開かない事や路肩にEV充電装置が有る事に感銘を受けました。

クロアチア、ハンガリーでは、路面電車が数多く走っており、主要観光地には行き易いのかなと感じました。

又、メンバーと共に水着に着替えて温泉湖で泳いだ（と言うよりかは浮かんだ）事は、良い思い出です。

企業視察では、初めてハイパーカーのEV化に成功したRimac様、欧州、北米向けのインジェクション等を製造販売しているDENSO Hungary様、ハンガリー国内、欧州向けに実車を製造販売しているMagyar SUZUKI様を見学致しました。

各社共に綺麗な工場で、騒音は有るも油など特有の臭いは気にならず、従事するには快適な空間と感じました。

Rimac社様では、騒音は全く感じられず工場の一角（通路脇）に食堂が設置されていた事は、驚きでした。

視察時は田嶋団長を初め、伊藤部長、参加メンバーの方々には大変お世話になり、有難うございました。

本視察で学んだ事、交流の内容については、社内で共有すると共に今後の業務活動に活かして当社並びに協会の益々の発展に寄与していきたいと考えます。

## 株式会社鐵鋼社 田嶋 直

今回訪問したスロベニア、クロアチア、ハンガリーは私にとってあまり馴染みがなくサッカーやテニスの選手を知っている、歴史的に非常に過酷な戦争、内戦の過去がある程度の認識でした。訪問した国では裕福ではないけれど人々には幸福感があり長くない夏を楽しんでいるようでした。

リマック・ブガッティ；モーター駆動のハイパーカーを作っており、ボディはカーボン・ファイバー製でハンドメイド、一度組立てた後にバラしてから塗装するなどのこだわりも多くあり製造工程をオープンに見せて頂きました。

また藤巻社長の尽力により全員が試乗させてもらい夢のような体験をしました。

個人的にはエンジン車の方が好きですがEV車の完成度の高さには驚きました。

デンソーハンガリー；日本のモノづくりを海外でも高いレベルで行っている。

日本と同じ様に人の確保、トランプ関税など同じところで苦労している。

マジヤール・スズキ；地域に根付いた経営をされている、インドもそうだがよくハンガリーという国を選んだなと思った。ハンガリーの国民車と言われているが最近ではシェアも落としていて日本のメーカーとして頑張ってもらいたい、と思いました。

また参加された皆様との懇親も深められたと思います。

海外の視察は多数参加していますが7, 8年前に比べて海外の物価の高さを感じますしあらためて日本の良さを実感しました。

この視察研修に参加された皆様と視察先の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。



## 名古屋特殊鋼株式会社 鷲野 敦司

このたび、クロアチアおよびハンガリーにて、リマック、デンソーハンガリー、スズキハンガリーの3社を視察する貴重な機会を得ました。

各社の異なる強みと成長戦略を間近に見ることで、欧州における自動車産業の現在地と、日本企業の果たすべき役割について多くの示唆を得ることができました。

リマックでは、革新的なEV技術とスピード感ある開発体制に強い印象を受けました。特に、垂直統合によるバッテリーからソフトウェアまでの一貫開発は、今後のモビリティ社会における競争力の高さを感じさせました。

一方、デンソーハンガリーでは、日本品質を維持しつつ、現地化を進めた製造体制に感銘を受けました。高度な自動化と人財育成の両立が、グローバルでの競争力につながっていることを実感しました。

スズキハンガリーでは、地域に根ざした生産と雇用創出の姿勢が印象的でした。現地従業員との信頼関係を大切にしながら、日本流のモノづくりを浸透させている点に、日本企業の強みを改めて感じました。

今回の視察を通じて、技術革新・現地適応・人財育成という3つの視点が、今後の

海外展開において重要であると再認識しました。得られた学びを、今後の業務や戦略立案に活かしてまいります。

## 株式会社 Ntoc 中島 伸夫

Rimac & Bugatti

新しいファクトリー見学及びテストコースでのハイパーカーの同乗試乗  
ファクトリー内は、清潔で想像していたよりも内製で多くの部品を作っており、丁寧に車両を組み立てていた。自社製のハイパーカー部門よりも他OEM向けの電池部品や制御システムで利益を稼ぎだし、最先端の電動車開発を続けている印象だ。今後も新しいOEM向けの仕事を受け入れるべく、人員や場所も確保されていた。電動ハイパーカーの試乗は、多くの制御・安定化システムが有効に働いており、ハイパワーかつドライバビリティを有効に保っており技術の高さを実感した。

デンソーハンガリー

コモンレールシリンダーのラインを中心に工場見学  
乗用車向けもあるが建産機向けや仕向け地もヨーロッパだけでなく北米にも輸出されているのは意外だった。  
塑性加工、熱処理、切削、研削、表面処理から組付けまで日本的に整然と配置されているのが印象的。部品のマッチングやすり合わせの管理がしっかりとされていた。

マジャールズズキ

ハンガリー最初の自動車組み立て工場

SUV 2車種の製造を行っている。溶接工程はかなり自動化とロボット化しており古い工場ながら生産性や品質安定性に気を配られていると感じた。女性の作業者も多く活躍していた。

今回の研修も、藤巻社長様、佐久間社長様、森川社長様のアレンジと事務局、JTBさんの配慮により有意義にそして安全に帰国できた事に感謝申し上げます。

年に1度、全国の皆様とお話させていただく機会は他に代えがたい時間です。

ヨーロッパの自動車産業の景気があまり良くないことが肌で感じられ、市中では電動車よりも実用的なディーゼル車が多く、農業立国から工業立国に変貌したい東欧の実情が現地に行くことで理解できました。皆様ありがとうございました。

## 川本鋼材株式会社 川本 賢史

今回のクロアチア・ハンガリー視察研修は、自動車産業の技術と各国の歴史・文化を体感できる貴重な機会となりました。クロアチアではザグレブのイエラチッチ広場を見学後、ハイパーカーメーカーのリマックを訪問。創業者マテ氏が18歳で立ち上げた会社は、1914馬力を誇る電動ハイパーカー「ネヴェーラ」で数々の世界記録を保持し、

BMWなどにバッテリーを供給するなど急成長を遂げています。欧州が電動化分野をリードしていることを実感しました。さらにテストドライブに同乗し、0-100km/hを1.8秒で駆け抜ける加速を体験できたことは強く印象に残りました。

ハンガリーではヘーヴィーズ温泉湖を訪れ、自然に触れるとともに、デンソーハンガリーやマジヤールスズキの工場を視察しました。デンソーは現地最大級の雇用を生み、品質と効率を両立した体制を築いていました。マジヤールスズキは1992年から生産を開始し、累計400万台以上を製造。2023年には約16万台を販売し、その9割以上を輸出しています。工場ではスズキのものづくり基本方針である「小少軽短美」を掲げ、異国の地でもその精神を広めていることに感銘を受けました。ブダペストでは国会議事堂やマーチャーシュ聖堂、鎖橋などを巡り、歴史と文化に触れ理解を深めました。

今回の研修を通じ、欧州の電動化・自動化の潮流を肌で感じ、日本企業の存在意義を改めて認識しました。そして何より、協会会員の皆様と共に過ごす時間の中で、多くの学びと温かい交流をいただけたことが心に残っています。このような研修を企画・運営いただいた関係各位、そして同行した皆様に深く感謝申し上げます。おかげさまで充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



## 佐久間特殊鋼株式会社 佐久間 崇透

### 1. 自動車関連企業の視察の感想

#### 1) クロアチア

##### ①Rimac Automobili & Bugatti Automobiles

世界最先端のEVハイパーカーメーカーにて、強力なインホイールモータを搭載したハイパーカー「ネヴェーラ」に試乗させて頂き、0-100kmわずか1.8秒という今までに経験したことの無い加速感と、一方でそのスピードを感じさせない静粛性、安定感に驚き、様々な可能性を秘めたEVの魅力を感じることができた。EVの肝であるバッテリー、インバーター、モータなども設計・製造していると聞き、同社のモノづくりのレベルの高さを知ることができた。(電池セルや磁石などは海外から購入)

#### 2) ハンガリー

##### ①フェシュテティッチ宮殿

クロアチアからの道中で立ち寄り、素晴らしい装飾の宮殿や昔の馬車、1900年代初めのフォード車（開発にハンガリー人も関与していたそう）など、人の移動手段としてのモビリティの変遷を見ることができた。

##### ②Denso Manufacturing Hungary LTD.

コモンレールシステムのポンプに使用される耐超高圧部品の製造過程を見学し、材料・部品設計・評価技術の賜物で250Mpa以上の高圧コモンレールが生産されている事が良く分かった。

##### ③Magyar SUZUKI Zrt.

ボディ関連のプレス～塗装～組付けラインを見学した。自動車という大きな機械製

品があれだけのスペースで次々と組付けされ、完成車の評価まで1台1台次々に流れていく様は、Rimac社とは全く異なる量産型工場として興味深く見学することができた。

## 2. 欧州各国訪問の感想

欧州各国の人々が自国の歴史観をしっかりと認識していることを強く感じました。日本も島国特有の文化・歴史をもっと認知し、海外の方に誇りをもって語れるようになることが必要だと思いました。



## 株式会社 F&C ホールディングス 藤巻 秀平

### 1. クロアチア&ハンガリー特殊鋼関連業界視察研修の感想

#### ①訪問先別に印象に残ったこと、勉強になったことなど

##### ●ブガッティ・リマック アウトモビリティ

年産30台の完成車を消費者に、バッテリーなどの部品を各自動車メーカーに販売しているメーカーだが、45か国から2,400人もの従業員が働いている。完成車は一台一台手作業で作られているが作っている従業員に会社や自分の仕事に対する誇りを感じた。バッテリーをどう効率的に使うか、どうパワーを出すかなどにノウハウがあり若い社長の会社だけあって勢いを感じた。

##### ●DENSO ハンガリー

1997年に操業開始、エンジンのコモンレールやインバーターなどを製造。4,000人の従業員が働いている。ディーゼルエンジンは農建機用で安定しているがガソリンエンジンは縮小、今後はBEV・PHEVのインバーターが増えていくとの事。作り方は日本との差は感じなかったが、インバーターは競争相手がBYDなどの中華系と韓国系に変化してきているという話が印象的だった。

##### ●Magyar SUZUKI Zrt

1992年に操業開始。早くからハンガリーで自動車生産を始めたためハンガリーの国民車として認識されている。日本やインドのSUZUKIの工場より自動化は遅れているようだが溶接工程などは全て自動だった。品質保証などをデジタル化し見える化を進めているのが印象的だった。リマックの後に見に行ったので手作業とライン化という対比で自動車生産の現場を見れてとても有意義だった。

#### ②今回他支部参加者との交流について（感想と要望事項等）

この会で一緒の方々と食事や観光先でお話をさせて頂く機会が多くとてもいい経験をさせて頂きました。他支部の方とも話ができ非常に楽しかった。個人的にはリマックの見学を皆さんが楽しんでいただけてホッとしました。

#### ③今回の視察研修全体の感想

クロアチア、ハンガリーとも景色が美しかった。こういった機会がなければなかなか訪れる事のない場所だと思ったので参加してよかったと思います。

## 2. 次回の海外視察について（具体的な行先や要望事項等）

- ・フランスやドイツ
- ・アメリカ
- ・中東

### 株式会社 F&C ホールディングス 篠原 巧

#### ～スロベニア・クロアチアの印象～

とにかく物価の高さを感じた。円安を差し引いてもあの物価と平均給与水準では生活のバランスは決して取れていないだろう。

しかし、ヨーロッパ人特有のプライドの高さは非常にあり、清掃などのハウスキーピングワークは自国内では人に見られるのは恥ずかしいという理由で、同程度賃金で他国に行ってまで働いているらしい。

また、国の経済を支える建設業などを中心に14万人もの海外労働者が従事しており、それが昨今の規制強化の流れに繋がっているが、実はクロアチア全体の就業者数170万人の10%が国外労働にて知的労働者やスポーツなどの完全富裕層か、先述の低賃金労働者などで極分化されているという。

そして、両者に跨るクロアチア人氣質はリマック塗装部署のきめ細やかさや勤勉さに見て取れた気がした。

#### ～ハンガリーの印象～

先に訪れた国々よりも比較的物価は安かったし、街並みの彩りにヨーロッパらしさがあった。

観光客が非常に多いせいか、ブダペストの人々のアジア人に対する振る舞いもフラットに感じた。

訪問させて頂いた2社は全く対照的で、ガソリン・ディーゼル車マーケットがシュリンクしていく中でEV向けで売上減少補填しているデンソー様と、生産台数はピークよりも半減してしまったがモノづくり、生産組織体制を現地人の手でとことん追求しているスズキ様に非常に感銘を受けた。

また同時に、どちらも日本と同じような人手不足の課題を抱えており、改めて高度人材の確保と単純作業のAI化を進めなければと危機感が募った。

#### ～視察研修を通じて～

改めてヨーロッパ全体のマーケットは大きいと感じたが、彼らを観察していると現状維持の考え方ややり方はイコール衰退を意味していると強く感じたし、変化できない者は生き残っていけないと再認識させられた。

以上

## 辰巳屋興業株式会社 櫛 芳之

### 1. Rimac Automobili

※BEV及びLiB（セルは購入品）の製造メーカー

F&Cホールディングスの協力で実現。工場見学時に会社概況や工程説明を受ける。

年間約30台生産、拘りの手作り。車が最も売れている国が日本は予想外。

売上高は約500億円、バッテリー75%、車25%。車を創る為にバッテリーを欧州各社へ販売（BYDのイメージ）。見学後、サーキットでインホイールモーターのBEVに試乗させて頂いたのは非常に記憶に残りました。

### 2. DENSO MANUFACTURING HUNGARY LTD.

※コモンレールシステム、排ガスセンサ及びインバータ製造

佐久間特殊鋼の協力で実現。会社概況説明及び工場見学実施。ディーゼル減少傾向の中、2023年より生産のインバータが伸張。BYD新工場、メルセデス能増等ハンガリー国内での自動車生産位置付け高く、今後も需要は見込める。工場内は以外にも日本製設備多数。信頼性と利便性が理由。金型は現調しメンテは自社。加工だけでなくダイキャスト、鍛造、熱処理も社内。乗用車のBEVシフトが鮮明に出ていることが印象に残りました。

### 3. MAGYAR SUZUKI Zrt.

※SX4S-CROSS、VITARAを製造

伊藤忠丸紅特殊鋼の協力で実現。会社概況説明及び工場見学実施。話の節々に鈴木修氏が登場。「太陽と重力はタダ」という名言通り工場内は天窓が多く太陽の光が多く差し込む。印象的なのは3500t(1992年)と5600t(2007年)のプレスラインの送りとストロークのスピードが極めて速いこと。今まで見た中でも最速でした。スマートファクトリーは進んでおり組立や取出し以外は殆ど自動化。ハンガリーとの協力関係は強固で国民は自国車と認識、販売台数もNo.1。一時期はワインやハチミツ、羽毛布団を日本ディーラーで販売したこともあり。

### 4. その他

ご多忙の中、アポ取りやスケジュール調整頂いた皆様に感謝申し上げます。

来年も楽しみにしています。



## リントツ株式会社 山下 良隆

今回の全特協海外視察研修では、ハンガリーとクロアチアを訪問し、現地の自動車産業や文化に触れる機会を得ました。特に印象に残ったのは、RIMACでの高性能EV車の試乗体験でした。時速100kmへの到達タイムは体感で2～3秒でした。EV車の最高峰を実感させて頂きました。

また、ハンガリーでは、SUZUKIやDENSOの工場見学です。最新の設備や効率的な生産ラインを間近に見学することで、日本企業が海外で現地に根付き、地域経済に

貢献しているかを実感しました。

また、ハンガリーにも発展途上国の人々が出稼ぎ労働者として働かれています、グローバルな生産体制を支える人材としての重要性を感じました。さらに異なる文化や歴史を持つ国々を訪れる中で、日本との価値観や働き方の違いにも気付かされました。日々の業務の中では得られない視点を持つことができ、自身の仕事をより広い視野から考えるきっかけとなりました。

加えて、研修を共にした参加者の方々との交流も深まり、職場とは異なる環境で共通の体験を積むことで、人間関係の強化にもつながったと感じます。

今回の研修を通じて得た学びや刺激を今後の仕事に活かし、より柔軟で国際的な視点を持ちながら成長していきたいと考えています。



### **三利特殊鋼株式会社 濱井 省吾**

クロアチア、ハンガリーの景況感及び全体の経済の感覚は物価の上昇に個人の所得が追い付かずあまりいい状況には感じなかった。

RimacAutomobili & BugattiAutomobiles創業者のマラは未だ36歳と若く18歳の時に車好きのマラはBMWにエレクトロニックエンジンを積んだらどうなるかとの発想からスタートしたとの事。当社は周りに失笑されたがHyper Carの開発で大成功し、たった18年で既にクロアチアで一番大きな工場を構えている。ニッチな市場を自ら創り上げ、この様な短期間で成功するのは私達のビジネスにも大きなヒントになった。DENSOは材料、特に特殊鋼に関しての使用が非常に厳しく日本の特殊鋼を扱う側とすればやはり難易度の高い仕事にどんどんチャレンジするのが戦略として重要だと感じました。SUZUKIはプレス工程からアッセンブリー組み立てまでフルラインを見学する事ができ自動車作りに関してとてもよく理解できました。ハンガリーを欧州向け輸出の生産拠点としており冷戦後の92年に設立され、ハンガリーとの強い絆を感じた。実際ブタベストではSUZUKIの車をよく見かけることがあった。しかし中国のBYDがハンガリーに開発センターを設立するとのこと。やはり世界的にどこの地域も日本車はBYDとのシェア争いは必須であり私達のビジネスでのどのような形でどのくらい影響を受けるのか注視する必要があると肌で感じました。

今回視察研修を通じて毎回のことですが、結団式から解散式までの参加者の皆様との結束がどんどん強くなっていくのを感じたのが一番の収穫だと思います。

## 8. 編集後記

今年の視察研修報告書より、環境負荷低減やコスト削減の観点から従来の冊子での印刷・製本・配布を取りやめ、PDF編集してホームページに掲載することになりました。従いまして参加者の感想文を含めて内容は、閲覧しやすいように以前よりコンパクトになりましたのでご了解ください。

さて今回の「クロアチア・ハンガリー自動車関連業界視察研修」は、EVハイパーカーの代表的企業であり性能や手作り生産に拘ったRimac・Bugatti、世界的な大手自動車部品メーカーのDENSO、東欧のハンガリーへいち早く進出したSUZUKIの工場見学をさせていただきました。それぞれが予想を超えた懇切丁寧な説明や案内をしていただきました。Rimacは見学だけではなく参加者一人ずつNEVERAの助手席に試乗し実際にテストコースを走行していただき、全員感謝感激でした。アテンドにご尽力をいただきました(株)F&Cホールディングスの藤巻様ありがとうございました。また、DENSO及びSUZUKIのアテンドを引き受けて下さいました佐久間特殊鋼の佐久間様及び伊藤忠丸紅特殊鋼の森川様にも心より御礼申し上げます。お陰様で今回の視察研修は大成功に終わることが出来ました。

今回は昨年のような台風のトラブルもなく、全員無事に予定通りのミッションをこなすことができました。これもご参加いただいた皆様のご協力の賜物と感謝しております。どうもありがとうございました。

そして内外交流委員会では、来年度も会員の皆様に「参加して益々よかった全特協」とご満足いただけるような海外視察研修を企画していきますので、是非ご参加下さるようお願い申し上げます。

最後に、今回の視察研修が皆様の今後の社業発展に役立つことをお祈りいたします。

全特協 事務局 伊藤龍也



試乗後、後ろ向きのNEVERAと一緒に (9/9)

クロアチア・ハンガリー自動車関連視察研修報告書

2025年10月発行

編 集 一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会  
「内外交流委員会」  
責任者：内外交流委員会委員長 川北 誠

発 行 一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会  
〒103-0025  
東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館4階  
電話 03-3669-2777 FAX 03-3669-0395

制 作 株式会社トライ